

## 単元案の概要

単元名:「値段交渉はできる? 決済手段は?」—日本と中国における購買行動の異同					
科目名	中国文理解	作成日	2017年10月1日	作成者	柳 素子
学年/年次	2	クラス人数	8	使用教材	『高校中国語』(白帝社)、自作プリント
話題分野	買い物	言語レベル	1	必要時間数	授業内9時間+授業外(校外学習、研修旅行におけるインタビュー、学年集会における発表)
単元目標					
<p>・中国語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の向上 (買い物をテーマにしたスキットを作成し、値段交渉の可否や決済手段について尋ねることができる。)</p> <p>・日中文化の異同への理解および文化発信力の向上 (中国では店によっては値段交渉が可能であり、スマホ決済も普及していることを理解する。また、それを学年集会で他の生徒へ発信することができる。)</p> <p>・情報機器の多面的な学習における活用(個別・協働学習の促進、活動の効率化) (発音矯正(Dragon Dictation)、動画作成(iMovie)、統計シート作成(エクセル)、プレゼンテーション(ロイロノート)などにおいて情報機器(アプリ)を活用することができる。)</p>					
コミュニケーション能力指標					
<p>話題分野【買い物】 レベル2~3</p> <p>2-a お店や売場の場所、買いたいものの有無や値段などを、尋ねることができる。</p> <p>2-h 支払い場所や支払い方法を尋ねて、代金を支払うことができる。</p> <p>3-b 値段の交渉をすることができる。</p>					
学習活動の流れ					
語彙・表現習得活動		学習シナリオ			
<p>日本人生徒と中国ルーツの生徒で小グループを作り、以下の活動を行う。</p> <p>①日本と中国の個人商店(屋台でもよい)における買い物の場面のスキットをそれぞれ作成し、セリフを覚える。(2-a,3-b)</p> <p>②中国国内の商店で決済手段を尋ねる表現を含むインタビュー原稿を作成し、セリフを覚える。(2-a,2-h)</p>		<p>&lt;場面状況&gt;</p> <p>K高校の「中国文理解」の授業では、「日本と中国における購買行動の異同」をテーマにプロジェクト型学習を行うことになった。中国ルーツの生徒と日本人生徒が協力しながら動画作成やリサーチを行い、日中文化の異同について理解を深める。また、活動の過程においては、中国食材店、中華街、中国国内のコンビニでもインタビューを行う。</p> <p>&lt;活動の流れ&gt;</p> <p>①数字の復習をした後、買い物の表現について練習する。 (アプリ「Dragon Dictation」を使って発音矯正)</p> <p>②日本と中国における買い物の場面のスキットを作成する。 (日中の生徒による協働学習)</p> <p>③スキットの内容をふまえ、日中における購買行動の異同(現金を使用した場合)について考察する。</p> <p>④学校の近くの中国食材店で会話実習(値段交渉の可否)</p> <p>⑤(エリア校外学習) 神戸中華街で会話実習(値段交渉の可否)</p> <p>⑥④、⑤の会話実習のふりかえり(リフレクションシートへの記入)。</p> <p>⑦日本と中国における決済手段の種類についてのディスカッション。</p> <p>⑧研修旅行先で使うインタビュー原稿の作成、発音練習、アンケートの準備。 (アプリ「Dragon Dictation」を使って発音矯正、日中の生徒による協働学習)</p> <p>⑨(中国研修旅行) 中国研修旅行に参加する生徒(一部)は決済手段について現地の店で聞き、動画を撮る。(アンケートの依頼)</p> <p>⑩②で作ったスキットの動画(字幕つき)を撮り、⑨の動画(字幕付き)、統計処理を行ったアンケート結果と合わせてプレゼンソフト(アプリ「ロイロノート」)にまとめる。</p> <p>⑪(学年集会)でロイロノートを使って発表。</p> <p>⑫発表のふりかえり(リフレクションシートへの記入)。</p>			
評価					
形成的評価		総括的評価			
<p>以下の成果物を評価対象とする。</p> <p>・買い物の会話(値段交渉の可否)のスキット原稿</p> <p>・「中国食材店」や「中華街」での会話実習後に書いたリフレクションシート</p> <p>・買い物の会話(決済手段を尋ねる)のインタビュー原稿</p>		<p>以下の成果物、発表内容を評価対象とする。</p> <p>・ロイロノートのスライド(字幕付きの動画、統計シート)</p> <p>・「学年集会」におけるパフォーマンス(中国語による説明)</p> <p>・「学年集会」後に書いたリフレクションシート</p>			